

引地台公園 樹木マップ

＜ピクニック広場＞



(公財)大和市スポーツ・よか・みどり財団

—— やまおり - - - - - たにおり

引地台公園で数の多い樹木は？

- 1位:ケヤキ 143本
- 2位:トウネズミモチ 125本
- 3位:ツバキ 124本
- 4位:クスノキ 104本
- 5位:ソメイヨシノ 86本

引地台公園には約1700本の木があります。
(植え込みなどの低木を除く)

名誉の木

大和市では、市民の皆さんの推薦により、平成24年度「名誉の木」を5本選定しました。そのうちの1本がピクニック広場のエンジュの木です。他には諏訪神社のハルニレなどがあります。

どんぐり(団栗)のなる木

団の字は丸いという意味で、クリのような丸い実のことをどんぐりといいます。

＜ピクニック広場には6種類＞()内は熟期



＜ピクニック広場以外にも3種類＞



用語の解説

雌雄に関するもの

【雌雄異株】

実のなる雌木(雌花のつく木)と実のならない雄木(雄花のつく木)の区別があるものです。

【雌雄同株】

雌木と雄木の区別がないものです。

※雌花と雄花の区別があるものと、そうでないものがあり

葉の寿命に関するもの

【落葉樹】

1年の中で葉のある時期とない時期がある木で、日本では寒い冬に葉を落とし、夏に葉があるのが普通です。そのため落葉樹林(落葉樹が優占する林)のことを夏緑林ともいいます。

【常緑樹】

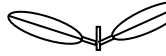
1年中葉がある木です。葉の寿命は1年のものやそれ以上あるものなど種類により異なります。

葉のつき方(葉序)に関するもの



【互生】

互い違いにつく



【対生】

向き合ってつく



【輪生】

輪状につく

葉の形状に関するもの

単葉と複葉

【単葉】

葉身が一つ

【複葉】

葉身が複数

全縁と鋸歯縁

【全縁】

葉縁にぎざぎざがない

【鋸歯縁】

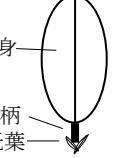
葉縁がぎざぎざ



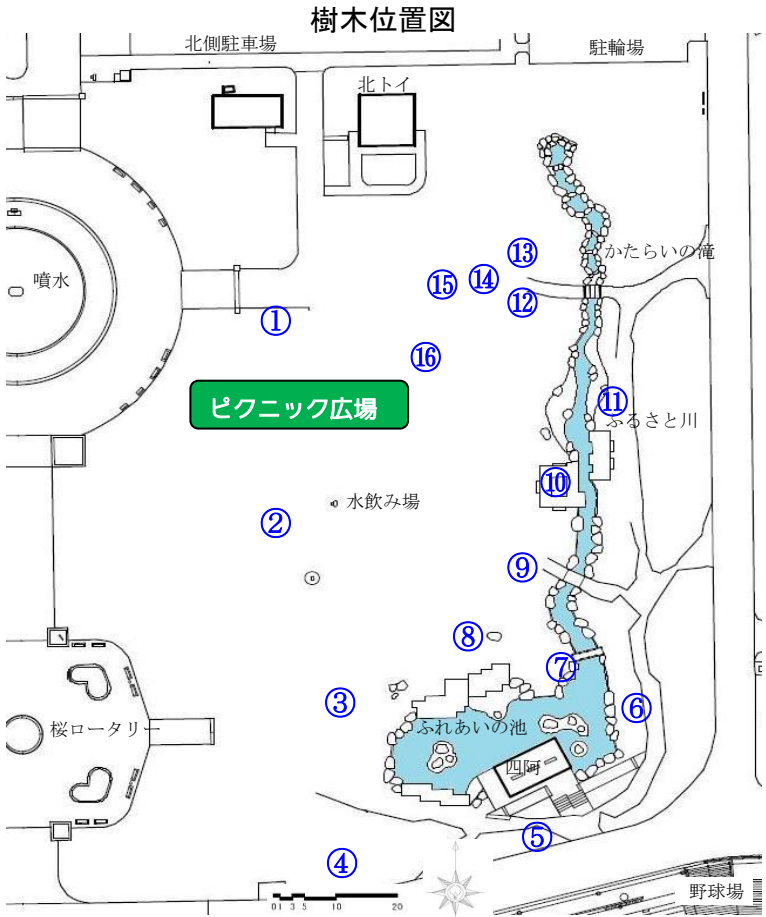
全縁



鋸歯縁



葉身
葉柄
托葉
葉のつくり



大和市柳橋4-5000 引地台公園管理事務所 ☎046-260-5798

主な樹木(1)

● 常緑広葉樹 ○ 落葉広葉樹 ▲ 常緑針葉樹 △ 落葉針葉樹

	種名	別名、方言	漢字名	科	属	解説
①	イチョウ ○	ギンギョウ	公孫樹	イチョウ科	イチョウ属	中国原産の落葉広葉樹で雌雄異株、葉は扇形で秋には美しく黄色く色づきます。並木や社寺林、また火災に強い防火樹として利用されます。実(ギンナン)は食用になります。
②	ケヤキ ○	ツキ	欒、槻	ニレ科	ケヤキ属	日本の代表的な落葉広葉樹で、ホウキを逆さにしたような雄大な姿と秋の紅葉がみごとです。材は木目が美しく、狂いが少ないため建築材や家具、またお椀や臼を作るのに利用されてきました。
③	ソメイヨシノ ○		染井吉野	バラ科	サクラ属	エドヒガンとオオシマザクラからできた品種といわれ、生長が早いので、明治末には全国に広がりました。開花後に葉が開きます。葉の縁には細かい鋸歯があります。名は江戸染井の植木屋から出たもの。
④	ヒマラヤスギ ▲	ヒマラヤシーダ		マツ科	ヒマラヤスギ属	ヒマラヤ西部からアフガニスタン原産の大きな常緑針葉樹で、きれいな円錐形の樹冠をつくります。庭園樹や公園樹として世界中で植えられています。落下した球果の先端はバラの花のようです。スギという名が付きますがマツの仲間です。
⑤	ラクウショウ △	ヌマスギ	落羽松	スギ科	ヌマスギ属	北米南部原産の落葉針葉樹で高さは50mにもなります。別名はヌマスギ(沼杉)といわれ、沼地や湿地に生えています。姿が美しいので公園に植えられます。短枝に小さな葉を互生しますが、よく似たメタセコイアの葉は対生します。
⑥	モミジバフウ ○	アメリカフウ	紅葉葉楓	マンサク科	フウ属	北米中南部から中米原産の落葉広葉樹で多湿な肥沃地を好みます。大正時代に渡来し、公園や街路樹としてよく植えられています。葉が掌状に裂け、モミジの仲間のようですが、葉は互生します。葉が対生するモミジの仲間とは異なります。
⑦	イロハモミジ ○	タカオカエデ		カエデ科	カエデ属	庭園などに植えられることが多い落葉広葉樹です。モミジの名所・京都の高雄の名をつけて別名をタカオモミジともいいます。秋に美しく紅葉するカエデの仲間の代表格。イロハニホヘトと葉が七つに裂けているのでこの名前がついたと言われますが、裂け方は色々あります。
⑧	エンジュ ○		槐	マメ科	クララ属	中国原産の落葉広葉樹で庭木や街路樹として植栽されています。葉はフジの葉のような複葉です。7～8月に黄白色の蝶形の小さな花をたくさん咲かせます。落ちた花で木の下は白くなり、なんだろうと見上げた方もあるのではないかと思います。果実は豆果で数珠状にくびれています。

主な樹木(2)

● 常緑広葉樹 ○ 落葉広葉樹 ▲ 常緑針葉樹 △ 落葉針葉樹

	種名	別名、方言	漢字名	科	属	解説
⑨	タブノキ ●	イヌグス	梣の木	クスノキ科	タブノキ属	暖地の海に近い照葉樹林を代表する常緑広葉樹です。葉は厚く、表面につやがあり、葉縁は全縁です。各地に巨木があります。建築材や家具材として利用されますが、クスノキより材質が劣るためイヌグスの別名があります。
⑩	エノキ ○		榎	ニレ科	エノキ属	秋にオレンジ色に熟す果実は甘く食べられます。野鳥もこの実が大好きで、ほうぼうにその種子を運んでいきます。葉は国蝶・オオムラサキの幼虫の食べ物となります。2014年にもなる落葉広葉樹で、昔は一里塚や村境などに植えられました。雌雄同株ですが雌花と雄花があります。
⑪	カツラ ○		桂	カツラ科	カツラ属	山地の溪流沿いの湿り気のある陽地に生える雌雄異株の落葉広葉樹です。葉が開く前に開花しますが、花びらはありません。ハートを逆にしたような形の葉を対生します。春の新緑と秋に黄色く色づく葉が美しいため、庭園や公園などに植えられます。
⑫	シラカシ ●	クロカシ	白欒	ブナ科	コナラ属	名前の「白カシ」は材が白いことから、「黒カシ」は木の皮が黒いことからの別名です。材は固く丈夫なため、金槌などの道具の柄として利用されています。市内泉の森に隣接しているしらかし林は、相模野台地の昔の姿を残すシラカシの群生地で、神奈川県天然記念物に指定されています。
⑬	コナラ ○	ナラ、ホウソ	小櫨	ブナ科	コナラ属	日当たりのよい山野の雑木林を代表する落葉広葉樹で、炭の材料やシイタケづくりのホダ木として利用されます。葉は良質な腐葉土になります。標高の高い所に生えているのがミズナラ(大櫨)で、葉も実もコナラに比べ大振りです。実はどんぐりの一つです。
⑭	クヌギ ○		欒、櫨、橡	ブナ科	コナラ属	コナラとともに雑木林を代表する落葉広葉樹で、材はシイタケの原木などに使い、また良質の炭ができます。実(どんぐり)は丸く、ヤジロベエやコマを作って遊びます。冬、枯れた葉がいつまでも木についています。
⑮	アラカシ ●	カシ、クロカシ	粗欒	ブナ科	コナラ属	山野に普通に生える常緑広葉樹で、葉の上半部に鋸歯(ぎざぎざ)があります。4～5月に花が咲き、その年の秋にはどんぐりが熟します。常緑性のカシの殻斗(帽子のような部分)には横の輪があります。ただし、ウバメガシはコナラのような鱗模様です。
⑯	スダジイ ●	イタジイ	椎	ブナ科	シイノキ属	暖地の山に生える常緑広葉樹で、まるみのある大きな樹冠をつくります。互生する葉の裏は灰褐色です。その実(どんぐり)はどんぐりの中では一番おいしいといわれています。熟すまで2年かかります。